

2分野で複業人材2名の登用が決定
～プロモーション戦略と官民連携の推進を目指す～

与謝野町は、株式会社Another works（本社：東京都渋谷区）が展開する複業マッチングプラットフォーム「複業クラウド for Public」を活用し、「プロモーション戦略アドバイザー」と「官民連携推進アドバイザー」の2分野について、即戦力の複業人材2名の登用が決定しましたのでお知らせします。

7月10日から12月31日までの約6ヶ月間で、オンラインによるアドバイスを中心に与謝野町の課題解決に向けてサポートしていただく予定です。



1. 登用人材

| プロモーション戦略アドバイザー

・櫻井 晃人 氏（さくらい あきと）

| 官民連携推進アドバイザー

・安田 大輝 氏（やすだ だいき）

※2分野ともに無報酬での登用です。

2. 登用人材のプロフィール

| プロモーション戦略アドバイザー

・櫻井 晃人 氏（61歳）／合同会社LOCALHOPE



京都府舞鶴市出身。元舞鶴市職員（令和4年3月退職）。在職中に観光・メディアプロモーションなどに関わり、舞鶴市の世界記憶遺産登録や日本遺産認定に携わる。また、設立準備から海の京都DMOに関わり、インバウンドやメディアプロモーションを手がけた。退職後は個人会社を設立し、インバウンドDMCであるアヤベックス(株)を中心に地域振興に軸足を置く自治体の観光プロモーション、エリアブランディング、インバウンド事業などに取り組んでいる。

コメント

海の京都DMO在職時、また、それ以前から、ちりめん街道や丹後天酒まつりに関わっていました。古来、丹後ちりめん等、産業が発展し、歴史的に価値のある地域資源が多いと感じています。先人が大切に守ってきたものを地域の方の思いとともに発信する事に少しでも役立てばうれしいです。

| 官民連携推進アドバイザー

・安田 大輝 氏（26歳）／SendoYa



京都府京丹後市出身。高校まで同市で育ち、大学卒業後に不動産の営業を経験し、現在は都市部の再開発事業・マンション建替え事業のコンサルタントとして従事。事業計画および資金計画の策定、事業関係者（行政・民間企業・住民）の合意形成などの業務を担当。

本業の傍ら令和2年より故郷の丹後半島エリアにて個人事業主SendoYaとして、地域内のイベントやまちづくり企画の支援を行う。現在は小字地名の地図を作成・発信することで、丹後半島の歴史や民俗文化の継承を目指し活動している。

コメント

公共施設の管理・運営は全国の自治体共通の悩みですが、その解決手法は千差万別です。本件ではPPP／PFIを見据えた官民連携推進アドバイザーとして参画させていただきますが、与謝野町にお住まいの方にとって望ましい活用方法となるよう、同町の文化を汲んだ計画策定のために努めてまいります。

3. 公募の背景と業務内容

| プロモーション戦略アドバイザー

—背景

シティプロモーションを進めることは、町外からの移住者や観光客を増やすだけでなく、本町に住んでいる町民がまちに愛着や誇りを持つことにつながり、将来的な定住人口の増加が期待できると考えています。本町が持つ様々な資源を最大限に活かして「シティプロモーション」を進めることで、多くの人々から「選ばれるまち」となることを目指し、まち全体を盛り上げていく施策などのプロモーションを展開できる民間人材のスキルを活用し、「持続可能なまちづくり」を進めていきたいと考えています。

—業務内容

- ・与謝野町シティプロモーション戦略プラン策定に関するアドバイス
- ・新聞、テレビ、Webメディアなどの各メディアの特徴を生かしたプロモーションの具体的手法に関するアドバイス

—業務量

- ・月2、3回のミーティング（オンライン等）
- ・コミュニケーションツールにてチャット相談

| 官民連携推進アドバイザー

—背景

与謝野町は平成18年3月に加悦町、岩滝町、野田川町が合併して生まれた町で、庁舎や学校、体育館、中央公民館などの公共施設は、旧町で建設した建物をそのまま利用しており、町内には197の公共施設（平成27年時点）が点在しています。しかし、その多くは上手く活用されているとは言えず、中には休館に追い込まれている施設もあります。一方で、施設の維持管理費や修繕費は増え続けており、公共施設の利活用問題は本町の財政

を圧迫する大きな問題となっています。

そこで、利活用を模索している公共施設、特に旧与謝小学校校舎・体育館・グラウンド、さらには食と健康、農業と福祉の連携などで運営していた宿泊施設（リフレかやの里）について、運営手法も含めた地域の活性化に繋げていくための方向性、そしてこれら施設の利活用に関する官民連携戦略プランを作成し、公共施設の利活用を推進していきたいと考えています。

一業務内容

- ・公共施設利活用の現状分析や課題の整理
- ・施設の利活用に関する官民連携（PPP・PFI）戦略プランの策定支援

一業務量

- ・月2、3回のミーティング（オンライン等）
- ・コミュニケーションツールにてチャット相談

4. その他

| 複業クラウド for Public とは

複業クラウド for Public とは、55,000名以上の優秀な複業人材が自治体職員とともに行政課題解決に取り組み、地方創生の実現を目指すプロジェクトです。複業人材を登用（最大6ヶ月、無報酬）することで、DXの推進計画や広報戦略の立案など専門性の高い知見が必要な行政課題を解決することが期待できます。

| 複業人材募集の経緯

令和3年11月18日、成功報酬無料の複業マッチングプラットフォーム「複業クラウド」を展開する株式会社Another works（本社：東京都渋谷区）と連携協定を締結。民間で培った知見や才能、実績等を保有する者を本町に登用し、お互いが持つ環境や資源、特長を活かしながら官民連携を推進することによって、本町が実施する事業を促進することを目指し、令和3、4年度において実証実験を実施してきました。

2ヶ年の実証実験（3分野 ※計4名）で、民間複業人材の登用によるプロジェクト推進について、その有用性を確認。今後も複雑化する行政課題に対応し、政策的かつ専門性の高い業務に対し、課題解決に必要な専門スキルに加え、民間の知見を活かした政策形成を推進していくため、複業人材の募集に至りました。

※これまでの登用実績

- | | | |
|----------------|------------------|----|
| ① 広報広聴戦略アドバイザー | （令和3年12月～令和4年4月） | 2名 |
| ② 企業誘致戦略アドバイザー | （令和4年8月～12月） | 1名 |
| ③ 業務改善アドバイザー | （令和4年8月～12月） | 1名 |

問い合わせ先

与謝野町役場総務課 担当：芦田、永井
電話：0772-43-9010